

## 令和元年度 事業執行報告

### 概 況

昨年は、天皇陛下の即位により元号が平成から「令和」に改められました。自然環境では、台風 19 号により関東甲信越・東北地方を中心に甚大な被害が発生しました。北海道でも 5 月に記録的な最高気温が各地で観測され、夏には猛暑日や真夏日が続き、さらに冬には降雪量が史上最少となるなど異常気象に見舞われた 1 年でした。

平成 31 年／令和元年の道内の食中毒の発生状況は、件数で 107 件（前年比 3 件増）、患者数は 729 名（同 222 名減）であり、件数では過去 10 年間で最も多い年となりました。病因物質別では、アニサキスによる食中毒が 68 件と全体の 2/3 の 63.6% を占めており、続いてカンピロバクター属菌によるものが 18 件、ノロウイルスによるものが 9 件発生しており、全体としては平成 30 年とほぼ同様の発生傾向でありました。また、患者数では依然としてノロウイルスとカンピロバクター属菌によるものが 409 名と全体の 56.1% を占めており、引き続き手洗いの徹底や二次汚染の防止、食品の十分な加熱などに注意することが重要です。

平成 30 年 6 月に HACCP の制度化や営業許可制度の見直し、営業届出制度の導入などを含め食品衛生法が改正されましたが、昨年 12 月には関係政省令も全て整備され、経過措置を含め令和 3 年 6 月には本格施行されることとなります。本会では、これまで北海道や日食協とも連携して各種講習会、巡回指導などを通じて HACCP 制度の周知を図ってきたところであり、昨年 10 月には業界団体の作成した手引書を活用して農林水産省補助事業による「食品製造事業者向け HACCP の考え方を取り入れた衛生管理研修会」を帯広市で開催しました。施行まであと 1 年余りとなっており、今後保健所とも連携協力の上、すべての営業者が HACCP 制度の導入に対応できるよう普及啓発を一層進めていくことが必要です。

一方、感染症の関係では、昨年 12 月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症は、その後世界的に急速に拡大し、現在も世界中で人の命と健康に大きな被害を及ぼすとともに、社会経済活動にも大きな影響を与えています。道内では 1 月に患者が初めて確認されて以降、感染者が増加し、2 月末には知事から感染拡大防止に係る緊急事態が宣言されました。本会では、国や北海道からの感染症の予防対策や営業施設等の衛生管理の徹底に関する通知を各地方食品衛生協会に周知するとともに、4 月に開催予定の食品衛生責任者講習会について延期することとしたところです。

食品衛生協会の活動は、地域の食品安全のために食品関係営業者が行う重要な活動であり、多くの会員の参加を得て今後とも積極的に展開していかなければなりません。本会では、令和 2 年度においても、行政との連携・協力の下に、地方食品衛生協会との情報交換を密に行い、各種事業や会員確保などに取り組んでまいりたいと考えています。

令和元年度の各事業の実施状況について、次のとおりご報告します。

## 第1 組織等に関する事項

### 1 地方食品衛生協会との連携

#### (1) ブロック会議の開催

公益社団法人北海道食品衛生協会（以下「道食協」という。）と地方食品衛生協会（以下「地方食協」という。）との連携を図るため、令和元年6月から11月にかけて道内8ブロックにおいて、次のとおりブロック会議を開催しました。

ブロック名	開催地方食協	開催場所	開催日	道食協出席者
空知	深川	深川市	R1.6.19	会長
十勝	広尾	大樹町	R1.6.26	会長
道南	江差	江差町	R1.7.10	会長・専務理事
オホーツク	紋別	紋別市	R1.8.23	会長・専務理事
中央西	石狩	札幌市	R1.8.27	会長・専務理事
道北	士別	士別市	R1.9.4	会長・専務理事
中央南	室蘭	登別市	R1.10.10	会長・専務理事
釧根	釧路	浜中町	R1.11.20	会長・専務理事

#### (2) 全道事務担当者会議の開催

- ① 開催日：令和元年6月5日（水）
- ② 場所：かでの2・7
- ③ 出席者：51名 専務理事並びに43地方食協の事務担当者  
公益社団法人日本食品衛生協会共済部の担当者
- ④ 内容：ア 令和元年度事業計画等について  
イ 道費補助事業の円滑な実施について  
ウ 「あんしんフード君」特別支援支部推進強化事業について など

#### (3) 食協あり方検討委員会の開催

- ① 開催日：令和元年12月6日（金）
- ② 場所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ③ 出席者：13名 専務理事並びに8ブロックの委員  
北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課の担当主幹等
- ④ 内容：ア 食協の今後のあり方について  
イ 道食協の財政並びに会員の動向、衛責講習会開催状況等について  
ウ 令和2年度会費額（案）について  
エ 顕彰事業負担金の継続について  
オ 衛責講習会受講料の改定について など

#### (4) 各ブロック事務担当者研修会への参加

次のとおり出席し、各地方食品衛生協会の課題、事務処理上の疑問点等について質疑応答、意見・情報の交換を行いました。

ブロック名	開催地方食協	開催場所	開催日	道食協出席者
道 南	渡 島	函 館 市	R1. 8. 23	宮崎書記
空 知	岩 見 沢	岩見沢市	R1. 10. 11	専務理事
道 北	稚 内	稚 内 市	R1. 10. 17	宮崎書記

#### (5) 地方食協との協議等

次のとおり地方食協等に出向いて食品衛生協会の課題等について意見・情報の交換を行いました。(専務理事対応)

- ① 令和元年7月1日(月) 中央西ブロック会長・指導委員長合同会議(石狩食協)  
・中央西ブロック協議会の開催について

#### (6) 保健所と食品衛生協会の連携体制の維持・増進

道庁で開催される保健所担当課長の会議や関係職員の研修などにおいて食品衛生協会の意義、役割、活動内容等を説明するとともに、ブロック会議等の機会に保健所関係者と懇談するなどして、食品衛生協会に対する行政職員の理解の醸成に努めました。  
(専務理事対応)

## 2 公益社団法人日本食品衛生協会との連携

### (1) 会議等への参加

日食協が開催する会議等に次のとおり参加しました。

- ① 「あんしんフード君」特別支援支部実行会議
  - ア 開催日：令和元年5月10日(金)
  - イ 場 所：三井住友海上駿河台ビル(東京都)
  - ウ 出席者：専務理事
  - エ 内 容：「あんしんフード君」普及推進の取組みについて
- ② 令和元年度定時総会
  - ア 開催日：令和元年6月21日(金)
  - イ 場 所：食品衛生センター(東京都)
  - ウ 出席者：会長、専務理事
  - エ 内 容：平成30年度決算報告、令和元年度事業計画
- ③ 全国支部長会議
  - ア 開催日：令和元年10月23日(水)
  - イ 場 所：食品衛生センター(東京都)
  - ウ 出席者：会長、専務理事

エ 内 容：令和元年度事業の進捗状況報告、食品衛生法の改正について

④ 組織改革委員会

ア 開催日：令和2年2月18日（火）

イ 場 所：食品衛生センター（東京都）

ウ 出席者：専務理事

エ 内 容：改正法に基づく政省令等の状況、会員増強モデル支部事業について

⑤ 福利厚生委員会

ア 開催日：令和2年2月21日（金）

イ 場 所：食品衛生センター（東京都）

ウ 出席者：会長

エ 内 容：令和元年度事業報告、協議事項について

⑥ 全国支部長会議

※ 令和2年3月19日に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止されました。

(2) 北海道・東北ブロック連絡協議会及び大会への参加

北海道・東北ブロック内の相互連絡や協議等を通じた各支部の発展、支部活動の活性化を目的として日食協が主催する北海道・東北ブロック連絡協議会及び大会に次のとおり参加しました。

① ブロック連絡協議会

ア 開催日：令和元年6月12日（水）

イ 場 所：青森県青森市

ウ 出席者：28名（うち道食協から会長、専務理事を含めて3名）

エ 内 容：令和元年度事業計画及び予算、提出議案等について

② ブロック大会

ア 開催日：令和元年6月13日（木）

イ 場 所：青森県青森市

ウ 出席者：329名（うち道食協管内から会長、専務理事を含めて25名）

エ 表彰関係

ア) 厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰

イ) 「あんしんフード君」10万件達成記念特別感謝状  
道食協管内から2名受賞（ブロックで18名）

オ 特別講演

ア) 食品衛生法等の一部を改正する法律の概要について  
（厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課 福島和子氏）

イ) 世界をめざすJOMON  
（青森県世界文化遺産登録推進室 岡田康博氏）

カ 食品衛生指導員体験発表

ア) オーストラリア研修から食品衛生指導員へ

(山形県支部酒田食協 原田周子氏)

イ) 指導員は見た！コレが巡回指導の現場だ！

(青森県支部三戸食協 佐々木清隆氏)

キ ブロック連絡協議会報告

ク 大会決議

私たちは、環境の変化や国際化に対応し、食の安全を確保するため、H A C C Pの考え方を取り入れた衛生管理の普及啓発に努め、導入に向けて積極的に推進して参ります。食品等事業者による衛生管理の更なる向上を目指し、消費者・生産者・食品等事業者の相互理解と信頼関係の確立に努め、安全で安心できる食の環境づくりに寄与することをここに決議します。

ケ 懇親会

③ 三部会長会議

ア 開催日：令和元年10月3日(木)

イ 場 所：秋田県秋田市

ウ 出席者：22名(うち道食協から専務理事を含めて2名)

エ 内 容：令和2年度三部会長会議及び連絡協議会について

(3) 食品衛生全国大会への参加

日食協が主催する食品衛生全国大会に次のとおり参加しました。

① 第59回食品衛生指導員全国大会

ア 開催日：令和元年10月23日(水)

イ 場 所：ニッショーホール(東京都)

ウ 出席者：会長、専務理事、宮崎書記、船水妙子氏(室蘭食協)ほか

エ 内 容

ア) 食品衛生指導員体験発表会

全国6ブロックから各2名が発表(発表者計12名)

北海道・東北ブロックは秋田県と北海道※が発表。

※「食品衛生指導員としての取り組み」船水妙子氏(室蘭食協)

イ) 食品衛生指導員理事長表彰

道食協管内から9名が受賞(全国295名)

② 表彰式典

ア 開催日：令和元年10月24日(木)

イ 場 所：明治座(東京都)

ウ 出席者：会長、専務理事、宮崎書記、地方食協関係者7名

エ 内 容

- ア) 厚生労働大臣表彰  
食品衛生功労者 道食協管内から 5 名受賞（全国 202 名）  
食品衛生優良施設 道食協管内から 2 施設受賞（全国 106 施設）
- イ) 日食協会長表彰  
食品衛生功労者 道食協管内から 7 名受賞（全国 331 名）  
食品衛生優良施設 道食協管内から 6 施設受賞（全国 209 施設）

#### (4) 食品衛生指導員全国研修会への参加

次世代のリーダーを担う食品衛生指導員としての資質の向上を図るため日食協が開催する研修会に道食協管内から 3 名と専務理事が参加しました。

- ① 開催日：令和元年 9 月 9 日（月）～10 日（火）
- ② 場 所：ラフレさいたま（さいたま市）
- ③ 参加者：函館食協 坂本政博氏、釧路食協 浅川正紳氏、石狩食協 藤澤康一氏
- ④ 内 容：厚生労働省における最新の食品衛生の取組み  
HACCP の考え方を取り入れた衛生管理（講義と指導助言演習）

#### (5) 日食協「会員増強モデル支部事業」の実施

平成 29 年度に策定した取組プランについて、令和元年度定時総会、ブロック会議や事務担当者会議等において説明し周知を図りました。

「あんしんフード君」等を活用した食品衛生協会への加入促進について、地方食協の窓口はもちろん、食品衛生責任者養成講習会や実務講習会等において食協紹介リーフレットや「あんしんフード君」リーフレットを配布するなどして、食品衛生協会への加入の働きかけを行いました。

組織改革会議は、道食協理事会に併せて次のとおり開催し、日食協並びに北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課の役職員の同席のもと、次のとおり協議を行いました。

- ① 令和元年度第 1 回組織改革会議  
ア 開催日：平成 31 年 4 月 16 日（火）  
イ 協議事項  
日食協「会員増強モデル事業」取組プランに係る活動状況について
- ② 令和元年度第 2 回組織改革会議  
ア 開催日：令和 2 年 2 月 26 日（水）  
イ 協議事項  
日食協「会員増強モデル事業」取組プランに係る今後の取組について

### 3 道食協における会議等の開催

#### (1) 総会・理事会等

- ① 令和元年度第 1 回理事会

- ア 開催日：平成 31 年 4 月 16 日（火）
- イ 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ウ 出席理事及び監事：20 名（会長、専務理事並びに 18 名の理事・監事が出席）
- エ 決議事項：平成 30 年度事業報告及び決算報告

② 令和元年度定時総会

- ア 開催日：令和元年 5 月 21 日（火）
- イ 場 所：京王プラザホテル札幌
- ウ 出席正会員：43 名（本人出席 37 名、委任状出席 6 名）（会長、専務理事出席）
- エ 決議事項：ア) 平成 30 年度事業報告及び決算報告  
イ) 令和元年度会費額、顕彰事業負担金等  
ウ) 理事及び監事の選任

③ 令和元年度第 2 回理事会（同日午前に三役会開催）

- ア 開催日：令和 2 年 2 月 26 日（水）
- イ 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ウ 出席理事及び監事：17 名（会長、専務理事並びに 15 名の理事・監事が出席）
- エ 決議事項：令和 2 年度事業計画、会費納入額、収支予算案等

④ 表彰審査会

「5 その他事業」の「1 顕彰事業」を参照

(2) ブロック会議

「第 1 組織等に関する事項」の「1 地方食品衛生協会との連携」を参照

(3) 北海道食品衛生大会

「第 2 食品衛生の普及啓発事業」の「1 令和元年度（第 57 回）北海道食品衛生大会の開催」を参照

(4) 専門部会・委員会

道食協の事業の推進と円滑な運営を図るため、次の部会等を開催しました。

① 食品衛生指導員部会

「第 3 食品衛生の向上に必要な人材の育成事業」の「2 食品衛生指導員の養成及び研修」を参照

② 共済部会

「第 4 福利事業の推進」の「1 共済部会の開催」を参照

③ 食協あり方検討委員会

「第 1 組織等に関する事項」の「1 地方食品衛生協会との連携」を参照

(5) 全道事務担当者会議

「第 1 組織等に関する事項」の「1 地方食品衛生協会との連携」を参照

## 第2 食品衛生の普及啓発事業

### 1 令和元年度（第57回）北海道食品衛生大会の開催

食品衛生の重要性を周知し、食品衛生思想の普及啓発と食品事業者の自主的な衛生管理体制の充実を図るため、次のとおり開催しました。

- ① 開催日：令和元年9月11日（水）
- ② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ③ 参加者：140名（43地方食協の役員、事務担当者、発表者、受賞者等）
- ④ 内 容

#### ア 全道食品衛生指導員研究発表会

ブロック別発表食協は、次のとおり。

空 知	中央西	中央南	道 北	オホーツク	十 勝	道 南	釧 根
深 川	石 狩	苫小牧	名 寄	紋 別	広 尾	函 館	釧 路

最優秀賞 「指導員活動36年間を振り返って」坂本 政博氏（函館食協）

#### イ 特別講演

演者：北海道立衛生研究所感染症部 特任研究職員 八木 欣平 氏

演題：寄生虫症に関する最近の話題－アニサキス症を中心に－

#### ウ 表彰式典

##### ア) 北海道知事表彰

食品衛生功労者 15名

食品衛生優良店舗 17店舗

##### イ) 道食協会長表彰及び感謝状

食品衛生功労者 45名

食品衛生優良施設 80施設

食品衛生指導事業功労者 52名

永年勤続職員 4名

## 2 食品衛生知識の普及啓発の実施

食品衛生知識の普及啓発を図るため、食中毒等食品事故の防止を内容とした食品事業者や消費者向けパンフレット等を購入あるいは日食協から提供を受けるなどして、食品衛生月間や食品衛生指導員の巡回指導等を活用して配布しました。

また、日食協との共催で実施した「ノロウイルス食中毒予防強化期間」（令和元年11月～2年1月の3カ月間）において、次のとおり食品事業者や消費者を対象とした講習会を開催したほか、リーフレットを配布するなど、啓発活動を実施しました。



開催日	地方食協	開催場所	講習会名	参加人員
R1. 11. 06	遠 軽	遠軽町	ノロウイルス食中毒防止講習会	52
R1. 11. 11	函 館	函館市	手洗いマイスター講習会	70
R1. 11. 22	函 館	函館市	手洗いマイスター講習会	95
R1. 12. 2	函 館	函館市	手洗いマイスター講習会	62
R1. 12. 11	函 館	函館市	手洗いマイスター講習会	93
R2. 1. 21	函 館	函館市	手洗いマイスター講習会	57
R1. 11. 19	小 樽	小樽市	ノロウイルス食中毒予防講習会	64
R1. 11. 27	釧 路	釧路市	ノロウイルス食中毒防止講習会	44
R2. 1. 22	八 雲	八雲市	ノロウイルス対策講習会	36

### 3 「食品衛生月間」の実施

食中毒が多発する8月を食品衛生月間に設定し、行政と連携する中で、「食中毒ゼロ」へ挑戦するため、次の事業を積極的に展開しました。

- ① 食品衛生指導員による巡回指導等（43 地方食協）
- ② 広報車やパレードによるリーフレットの配布など街頭啓発活動

14 地方食協で実施し 200 名が参加

- ③ 消費者教室や食中毒予防教室など普及啓発事業

29 会場で実施し 1,590 名が参加

- ④ 食中毒警報事業（43 地方食協）

食中毒警報発令時に、連絡網や旗・のぼり、垂れ幕等を利用して周知徹底を図り、食中毒予防を呼びかけました。

### 4 苦情防止対策講習会の開催

食品衛生責任者等を対象に、苦情の発生防止や適切な苦情処理についての講習会を次のとおり開催しました。

- ① 開催地方食協 14 食協（江別、千歳、滝川、留萌、稚内、室蘭、倶知安、旭川、帯広、釧路、北見、小樽、苫小牧、函館）

- ② 参加人員 646 名

### 5 月刊誌「食と健康」の購読促進

地方食協役員や会員に対する購読の促進を図りました。

## 第3 食品衛生の向上に必要な人材の育成事業

### 1 食品衛生責任者養成講習会・実務講習会の開催

各営業施設において衛生管理の中心的役割を担う食品衛生責任者の養成と資質の向上を図り、自主管理体制を強化するため、各地方食協に事務を委託し、全道各地で講習会を開催しました。

(1) 養成講習会

- ① 開催回数：73回（年間開催予定74回 達成率98.6%）
- ② 受講者数：4,301名（年間受講予定者数4,300名 達成率100.0%）

(2) 実務講習会

- ① 開催回数：83回（年間開催予定83回 達成率100.0%）
- ② 受講者数：3,367名（年間受講予定者数3,700名 達成率91.0%）
- ※ HACCP制度化の動きに対応するため、「食品衛生に関する最新の知見等」において保健所担当者から、HACCPによる衛生管理の普及啓発を行いました。

(3) 食品衛生責任者の講師研修会の開催

- ※ 令和2年3月6日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

## 2 食品衛生指導員の養成及び研修

食品衛生指導員制度・運営規程に基づき、食品衛生指導員を養成するとともに、指導員の資質の向上を図るため、研修会を開催しました。

- (1) 食品衛生指導員の委嘱 89名  
食品衛生指導員養成講習会の開催 11カ所

(2) 食品衛生指導員部会の開催

- ※ 令和2年3月11日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

(3) 指導員研修会の実施

① 全道食品衛生指導員研修会

- ア 開催日：令和元年6月19日（水）
- イ 場所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ウ 参加者：41名（43地方食協のうち35から食品衛生指導員部会委員等が参加）
- エ 研修内容
  - ア 「食品衛生の現状と課題について」  
講師：北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課 木戸 啓湖 先生
  - イ 「食品衛生法の改正について」  
講師：北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課 玉置 真一 先生

② 地方食協食品衛生指導員研修会

- 食品衛生指導員による巡回指導の前や「食品衛生月間」に併せて実施しました。  
58回 1,664名参加

#### (4) 全道食品衛生指導員研究発表会

「第2食品衛生の普及啓発事業」の「1令和元年度（第57回）北海道食品衛生大会の開催」を参照

### 3 食品衛生指導員による巡回指導

食中毒の多発する夏期及び食品が多く出回る年末を中心に、重点指導項目を「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の実施」として巡回指導を行い、HACCP制度化について周知するとともに、衛生管理について指導しました。

① 道費補助関係 指導件数 50,718 件、参加指導員数 8,493 名

② 日食補助関係 指導件数 64,957 件、参加指導員数 24,400 名

### 4 ブロック会議等の開催

道内8ブロックにおいてブロック会議を開催し、道食協の事業説明、事業推進等に関する協議、地方食協間の情報交換、研修等を行いました。

詳細は、「第1組織等に関する事項」の「1地方食品衛生協会との連携」を参照

### 5 令和元年度農林水産省補助事業 食品製造事業者向け「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理研修会」（北海道会場）の開催

① 開催日：令和元年10月16日（水）

② 場 所：とがち館（帯広市）

③ 参加者：76名（全道の食品関係営業者、関係行政職員、団体職員等）

④ 研修内容

ア HACCPの制度化等について（共通講義）

イ HACCPの考え方を取り入れた衛生管理について（講義、演習）

※ 清涼飲料水（ミネラルウォーター類）製造、漬物製造、菓子製造

## 第4 福利事業の推進

### 1 共済部会の開催

共済事業の積極的な推進を図るため、次のとおり共済部会を開催しました。

① 開催日：令和元年6月25日（火）

② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

③ 出席者：9名 8ブロックのうち4ブロックの共済部会委員等

日食協共済部の担当者

三井住友海上火災保険、ジブラルタ生命保険の担当者

④ 内 容

ア 令和元年度事業計画等について

- イ 「あんしんフード君」、食品営業賠償共済等の加入促進計画について
- ウ 共済事業に係る報奨金制度について
- エ 「あんしんフード君」10万件達成記念特別感謝状受賞者の推薦について

## 2 食品営業賠償共済事業

食品事業者の経営安定及び消費者の利益擁護を図るため、日食協と三井住友海上火災保険(株)との保険契約による食品営業賠償共済並びに「あんしんフード君」への加入を促進しました。

2月末現在の加入総件数は9,664件で、道食協目標18,559件の52%でした。うち、「あんしんフード君」は2,815件で、同目標3,098件の91%を達成しています。

## 3 生命共済事業

食品事業者の事故に対応するため、日食協とジブラルタ生命保険(株)との保険契約による生命共済への加入を図りました。

## 4 火災共済事業

食品事業者の不慮の災害に対応するため、日本食品衛生協同組合が取り扱う火災共済への加入を図りました。

## 5 食品衛生指導員見舞金事業

活動中の食品衛生指導員等の事故に対応するため、日食協の見舞金制度を活用することとしています。本年度は1名が給付を受けました。

# 第5 その他事業

## 1 顕彰事業

食品事業者の食品衛生意識の向上を図るため、食品衛生の向上に貢献した者、食品衛生上優良な施設などに対する道食協会長表彰を行いました。(「第2食品衛生の普及啓発事業」を参照)。

また、日食協会長表彰等の表彰候補者を日食協に推薦し、被推薦者は食品衛生全国大会で表彰を受けました(「第1組織等に関する事項」の「2公益社団法人日本食品衛生協会との連携」を参照)。

被表彰者、表彰候補者の選考については、表彰審査会を次のとおり開催し、道食協表彰基準に基づき厳正に審査を行いました。

- ① 開催日：令和元年7月4日(木)
- ② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ③ 出席者：11名(会長、副会長、専務理事、常務理事ほか)

- ④ 決議事項：令和元年度日食協会長表彰等の表彰候補者の選考  
令和元年度道食協会長表彰の被表彰者の選考  
全道食品衛生指導員体験発表会の発表順について

## 2 北海道HACCP自主衛生管理認証制度事業

北海道独自の「北海道HACCP自主衛生管理認証制度」における「認証審査会」の事務局として審査会を開催しました。（専務理事対応）

- ① 審査委員 5名
- ② 開催回数 8回（5月31日・7月29日・10月18日・12月24日・3月9日  
・3月18日）

※ うち3月の2回は新型コロナウイルス感染症の影響により、書面審査となりました。

- ③ 認証数 102件（新規45件、更新56件、変更1件）

## 3 資材の斡旋・紹介

食品衛生上必要な機材、器具などの物品を斡旋・紹介し、会員の利便を図りました。

## 4 地方食品衛生協会会員確保対策事業

地方食協への非加入、離脱は、組織の根幹に係わる問題であることから、地方食協の窓口や食品衛生責任者養成講習会、実務講習会の会場等において食品衛生協会を紹介するリーフレットの配布や、「会員の章」の作成など、地方食協と一体となった対応を行いました。

- 会員の章の作成
  - ① 作成枚数 100枚
  - ② 作成地方食協 1食協（岩見沢）

## 5 食中毒無事故対策事業

令和元年において会員施設を原因とする食中毒の発生がなかった34地方食協に対して報奨金を支給しました。